# 講義および演習環境の事前確認

注意事項	1
作業 1 : Zoom 会議への接続テスト	2
作業 5 : Azure Lab Services へのサインインと Lab 仮想マシンへの RDP 接続テスト	3

### 注意事項

- この手順は、必ずトレーニングコース受講当日に使用する PC および場所(ネットワーク)で行ってください。
  - ▶ 画面や操作手順は、予告なく変更になる場合があります。
- 演習用の PC は、Windows 10 または Windows 11 をご使用ください。
- 会社ネットワークや会社デバイスを使用されている場合、会社のポリシーによって、通信ポートや特定サイトへの アクセスが制限され、ハンズオン演習が実施できない場合があります。この事前確認作業が失敗する場合は、 ご自宅のネットワークや個人のデバイスなど、制限のない環境でのご受講をご検討ください。
- RDP 接続テストは、メンテナンス時間(AM 1:00-5:00)内は行うことができません。
- 演習用 Web ブラウザーは、Microsoft Edge または Google Chrome を使用してください。
  - Web ブラウザーから特定のサイトにアクセスする際、確実に指定されたアカウントでサインインするためには、
    Microsoft Edge の InPrivate モード や Google Chrome の シークレット ウィンドウ をご使用ください。
- ハンズオン演習で使用する PC とは別に、2 つ目のデバイス をご用意いただくことを、強く推奨いたします。
  - ▶ 2 台目のモニター、2 台目の PC、タブレット端末など。
  - ▶ これは、講師の画面を表示しながら、演習を行ったり、デジタル テキストを表示したりするためです。

▶ なお、Zoom 用と演習用で別々の PC を使用される場合、演習環境からも Zoom チャット操作を行って いただく場合があるため、研修で使用されるすべての PC から Zoom への接続テストを行うことを推奨します。

### 作業1:Zoom 会議への接続テスト

このコースは、Zoom 会議を使用します。 Zoom 会議への接続を確認します。

- 1. トレーニング コース受講当日に使用する PC およびネットワークで、Web ブラウザーを起動します。
- 2. 「Zoom の テスト サイト」にアクセスします。

https://support.zoom.us/hc/ja/articles/115002262083/

3. Zoom ミーティングに参加するテストの「手順」が表示されます。



⇒ 指示に従ってテストを行います。

## 作業 2 : Azure Lab Services へのサインインと Lab 仮想マシンへの RDP 接続テスト

演習で使用する、Azure Lab Services サイトと Lab 仮想マシンへの接続を確認します。

- 1. トレーニング コース受講当日に使用する PC およびネットワークで、Web ブラウザーを起動します
- 2. [Azure Lab Services]にアクセスします。

https://labs.azure.com/

- 3. Azure Lab Services ページが表示されます。
- 4. 画面中央の [サインイン] をクリックします。



- 5. 次のテスト アカウントで、サインインします。
  - ・ ユーザー名: labsvcuser-000@edifist20outlook.onmicrosoft.com
  - ・ パスワード : Pa\$\$w0rd1234%

Microsoft	Microsoft
インイン	← labsvcuser-000@edifist20outlook.onmicrosoft.c
bsvcuser-000@edifist20outlook.onmicrosoft.com	パスワードの入力
カウントをお持ちではない場合、作成できます。	
アカウントにアクセスできない場合	
オインイン オプション	パスワードを忘れた場合
次へ	サインイン

- 6. Azure Lab Services の画面が開きます。
- 7. 画面右上のアイコンをクリックし、テスト アカウントでサインインできたことを確認します。

Azure Lab Services	© ? <b>L</b>
自分の仮想マシン	L labsvcuser-000 labsvcuser-000@edifist20
RDP-Connection-Test	サインアウト
Azure コース接続テスト用マンシです。	
使用: 196.5/5,010 時間	
● 停止	

⇒ テスト アカウントで Azure Lab Services に接続できました!

8. [自分の仮想マシン] が「停止」 している場合は、仮想マシンを開始するため、[停止] スイッチ ボタンをクリックします。



⇒ スイッチ ボタンの表示が、「停止」→「開始しています」→「実行中」に変わります (この処理には、3~4分かかります)。

- 9. スイッチ ボタン [実行中] の右隣にある PC アイコンをクリックします
  - (PC アイコンにカーソルを合わせると、[仮想マシンに接続する] と表示されます)。

自分の仮想マシン	
RDP-Connection-Test	-
Azure コース接続テスト用マシンです。	,
(古田, 106 5 /5 010 時間)	
1907/010 四面	
実行中	-

⇒「RDP-Connection-Test.rdp」という名前のファイルがダウンロードされます。

次のようなメッセージが表示された場合は、[保存]をクリックします。



10. ダウンロードされた RDP ファイルを開きます。



⇒ [リモート デスクトップ接続] の [このリモート接続の発行元を識別できません。接続しますか?] と表示されます。 11. [接続] をクリックします。



⇒ [資格情報を入力してください] が表示されます。

- 12. Lab 仮想マシンに、以下のテスト用アカウントでサインインします。
  - ・ ユーザー名: student
  - ・ パスワード : Pa55w.rd2005!

Windows セキュリティ	×
資格情報を入力してください	۱ ۱
これらの資格情報は、ml-lab-ac31061 b91f-5b8d3d709ad8.japanwest.clo 用されます。	6-a773-4e28- udapp.azure.com への接続に使
Student	
•••••	ି
~¥Student	
□ このアカウントを記憶する	
その他	
ОК	キャンセル

⇒ [このリモート コンピューターの ID を識別できません。 接続しますか?] と表示されます。

13. [はい] をクリックします。



14. リモート デスクトップ接続の画面が表示されます。



- 15. 画面右上の [×] をクリックし、リモート デスクトップ接続ウィンドウを閉じます。
- 16. 「リモート セッションは切断されます」 というメッセージが表示されたら、 [OK] をクリックします。

#### ここで、Azure Lab Services の画面に戻ります。

17. 仮想マシンを停止するため、[自分の仮想マシン]の[実行中]ボタンをクリックします。



18. 仮想マシンが「停止しています…」という状態になったことを確認します。

自分の仮想マシン		
RDP-Connection-Test Azure コース接続テスト用マシンです。		
使用: 196.8/5,010 時間		_
● ○ 停止しています…	Ŗ	:

 Azure Lab Services からサインアウトし、Web ブラウザーを閉じます (仮想マシンが完全に停止していなくても大丈夫です)。

"事前確認"は、これで終了です。ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。